

じいちゃんの母校を訪ねて

【令和7年2月20日】

韓国の大学生、^{キムヤンチャン}金榮贊さん(25歳)が、祖父・^{ジョンファン}鍾炘(日本名:金田三郎)さんの足跡をたどって本校を訪問しました。

祖父の^{ジョンファン}鍾炘さんは、笠原町に生まれ、昭和18(1943)年に東濃中学校(現在の本校)に入学。卒業を待たずに終戦翌年の21(1946)年に家族と韓国へ帰国されました。^{ジョンファン}鍾炘さんの本校への愛着は深かったようで、平成8(1996)年には来岐され同級生と再会するとともに本校の創立100周年記念式典にも出席されました。



▲昭和56(1981)年8月来日時、本校武道場前にて鍾炘さん(榮贊さん提供)

祖父の影響を強く受けたという^{ヤンチャン}榮贊さんは、ぜひ本校を訪問したいとメールで思いを伝え、訪問が実現しました。校長室で吉田校長が当時の記録を見せ、本校の^{きしょう}徽章(バッジ)をプレゼント。その後は土本教頭の案内で校内を見学しました。^{ジョンファン}鍾炘さんは20年ほど前に亡くなったそうですが、祖父の母校を訪問することができ、^{ヤンチャン}榮贊さんはとても満足そうでした。



なお、^{ジョンファン}鍾炘さんの息子で、^{ヤンチャン}榮贊さんの伯父に当たる韓国の作家、^{ヨンス}金衍洙さんもちょうど20年前の平成17(2005)年2月21日、父の足跡を訪ねて本校を訪れています。